

水稻品種「みのりの郷」の目標収量及び収量構成要素

利用対象：研究機関、指導機関

目的：栽培適応性の高い業務用多収水稻品種として本県で開発され、2019年2月に品種登録出願された「みのりの郷」について、3か年の栽培試験データを解析し、安定生産が可能となる栽培方法の確立に向けて、収量及び収量構成要素の目標値の決定を目指しました。

成果：収量（坪刈り）は660kg/10aを目指すことができ、 m^2 粒数3万3千～3万4千粒で同収量が得られると考えられます。目標 m^2 粒数を得るためには、登熟歩合82%以上、千粒重24.2g以上、穂数350～370本/ m^2 の確保が必要と考えられます。また、収量と整粒歩合及び玄米蛋白質含有率との間には相関関係が認められません。

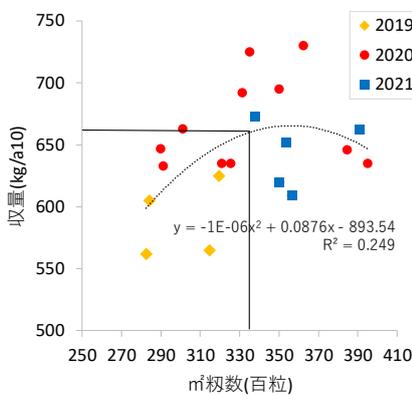


図1 m^2 粒数と収量との関係

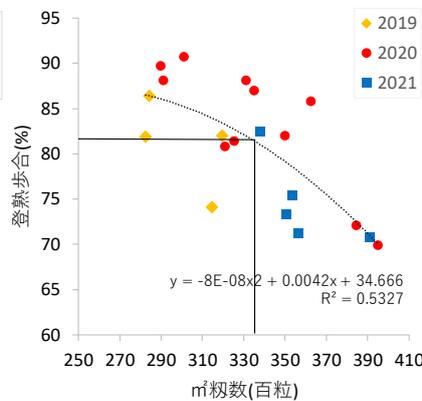


図2 m^2 粒数と登熟歩合との関係

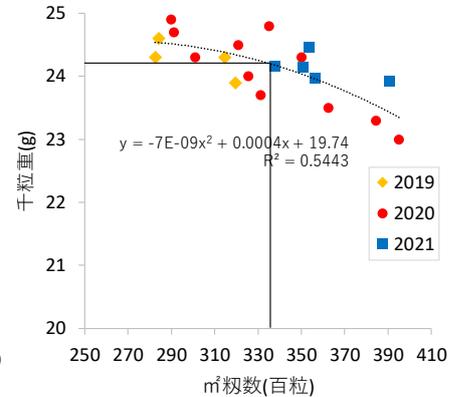


図3 m^2 粒数と千粒重との関係

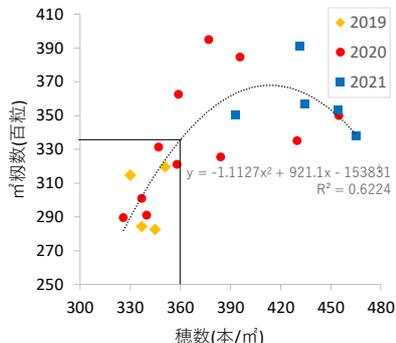


図4 穂数と m^2 粒数との関係

表1 目標収量(660kg/10a)を得るための収量構成要素

m^2 粒数	登熟歩合	千粒重	穂数
330～340百粒	82%以上	24.2g以上	350～370本/ m^2

活用面および留意点：

- ・解析には2019～2021年度の3か年の所内試験データ（松阪市、伊賀市）を用いています。
- ・5月中旬から下旬に、稚苗を50～60株/坪の栽植密度で移植する条件に適用できます。

お問い合わせ先	生産技術研究室 農産研究課 佐藤恒亮 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 内山裕介 電話 0598-42-6323
参考になる資料	https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm （三重農研HP）